

狛犬ならぬ狛猪が建つ

京都市の
護王神社

天皇陛下御在位20年記念の一環

京都市上京区烏丸通下長者町下ル桜鶴円町にある護王神社入口左右に、狛犬ならぬ狛猪が設置されておられ、同神社を訪れる参拝者の目を引いている。

命を御祭神としており、「日本後紀」に和氣清麻呂公が京より宇佐八幡へ向かわれた際、災難に遭われたが、その時、三百頭の猪が現れて、清麻呂公をお護りしたことがあることから、「狛犬より狛猪を」という崇敬者の

同神社は、もともと和

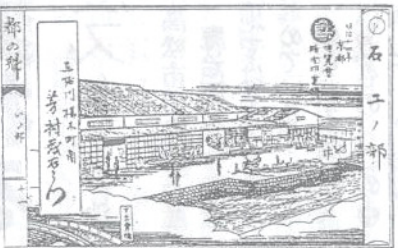
氣清麻呂公命と和氣広虫

声に応え、明治23年に建てられたという。

神社入口にある狛猪像は、平成19年4月、「平成の霊猪像」として建立された。製作・施工は、享保年間創業の株芳村石材店（屋号・石茂〓山田俊行社長・京都市上京区東堀川通榎木町上ル）が請け負った。この狛猪は、大阪府和泉市から産出する和泉砂岩で製作されており、総高7尺2寸で、



巨石を搬入する芳村石材店の店頭風景（明治時代）



明治時代、商工名鑑に掲載された店頭風景